

トイレも働き方改革

ミヤジマ（滋賀県多賀町、宮嶋誠一郎社長、0749・48・0571）は、本社工場のトイレを刷新した。建設機械用のシャフト部品などを手がける同社の既存トイレは和式便器しかなかった。このほど稼働した新トイレ建屋の外観はネイビーマットのデザイン鋼板を使い、同社のキャタクター「BENBO君」を掲示。最新の洋式トイレ二つと和式一

工場の労働環境アップ

ミヤジマ 800万円投じ刷新



つ、男性用小便器三つを置いた。

投資額は約800万

れで快適なトイレと

話を。自身が海外や国内各地に出張した際、好感したトイレを数多く撮影。この写真をもとに、1級建築士にイメージや要望を伝えて設計依頼した。従業員からは「自分たちの価値も上がったよ」「や」「上等すぎて気恥ずかしい」などの声があったという。同社の社員は男性36人、女性5人。工場は男性のみのため女性は事務所の女子トイレを使う。新トイレは社員2人が当番で清掃する。職場環境を改善し、労働意欲向上につなげる。中小企業にとってはトイレ環境の改善も大きな働き方改革の一環となる。

新

円を投じて刷新